

熊本留学生交流推進会議

事業名	くまもとまちづくり -留学生 活躍事業-			
実施期間	平成25年5月19日～平成25年12月14日			
場 所	熊本市国際交流会館、くまもと県民交流館パレア、熊本大学工学部百周年記念館ほか			
参加者	外国人留学生	地域住民・企業等	その他	合計
	526 名	380 名	193 名	1099 名

＜実施内容＞

地域との交流、学生・留学生の交流、キャリア関係の事業として、本年度、ウェルカムパーティ(春)(秋)、留学生と日本人学生によるグローバルワークキャンプ、熊本を知らうボランティアガイド養成講座、「ビフォーアフター くまもとに来るまえ 来たあと そしてこれからの自分」と題した留学生シンポジウム、外国人留学生のための就職説明会などを行いました。



秋のウェルカムパーティ 集合写真

外国人留学生のための就職説明会

熊本県主催、熊本留学生交流推進会議等の共催により12月14日、くまもと県民交流館パレアにて開催しました。本年度で3回目となります。参加した留学生は企業に就職した先輩によるパネルディスカッションや企業の担当者の説明を熱心に聞いていました。参加者は116名、出展企業は16社でした。



熊本を知らう ボランティアガイド養成講座

11月30日の熊本博物館の先生による熊本の文化や歴史に関する講義の後、12月8日に阿蘇へバスツアーをする講座として開催しました。ふだんはでは味わえない熊本や日本の事について深く知ってもらふことと、日本や熊本について母国で紹介してもらふことが目的で、今回は熊本県内の留学生が38名が参加しました。バスツアーでは阿蘇周辺の史跡などを訪れ、「風景がほんとうにすばらしいです。」「今度はみどりの阿蘇を見たい。」などの声がありました。



留学生シンポジウム

12月7日「ビフォーアフター くまもとに来るまえ 来たあと そしてこれからの自分」をテーマにポーランド、6人の留学生が、熊本に来て実際に見たり感じたことや、それをどのように活かしていきたいかなど発表し、また来場者と意見交換をしました。後半は、もちつきをして、地域のかたと交流を深めました。



<参加者からのコメント>

蘇文怡さん(中国) / Su Wen-Yi

今回の国際交流会館での講義の内容とバスツアーの見学とても興味深かったです。いいチャンスとなり熊本がもっと好きになりました。交流もできてよかったです。ありがとうございます。

ファン・ジック・ホアンさん(ベトナム) / Pham Duc Hoang

日本に来る前は、日本のピンク桜と富士山とドラえもんしか知りませんでした。2012年4月2日、来日してから、日本のことをますます詳しく知ります。例えば、日本の国花の桜として、いろいろな文化が生まれることとか、日本の新幹線と日本人の働き方はよく似ていることなどです。熊本に来る前にも、福岡県の北九州市に約1年間に住んでいましたから、熊本のことを何とか知りました。しかし、2013年の3月27日、熊本市に来て、自分のイメージのより、きれいな都市だけではなく、歴史的な年だと思っています。それから、自分の生活はずいぶん変わってきます。崇城大学留学生別科に入ってから、良い勉強環境なので、日本語が良くなって、自立生活ができます。2014年から、将来のために、大学に入学試験の準備しなければなりません。日本語を使いこなしたく、英語を復習したいと思います。自立生活が続けられるように、時間管理がもっとうまくいきたいと頑張ります。

今回のシンポジウムでの発表会は、私的には、忘れられないほど楽しかった記念です。初めての餅つき、日本人と外国人の友達ができ、日本語学校での勉強したことが実習チャンスとして、いいことばかりでした。皆さんには、もしチャンスがあれば、シンポジウム発表会にお越しくださいね。